

国際会議でアルハイテック クリーン水素製造 説明



国際会議で水素の生成技術を説明する
アルハイテックの水木社長＝都内

クリーンエネルギーの拡大を目指す米国やEU、日本などによる国際的な枠組み「ミッション・イノベーション」の会議が10日、都内のホテルで開かれ、環境ベンチャーのアルハイテック(高岡市オフィスパーク)

の水木伸明社長が廃アルミから水素を生成する自社技術を説明した。

「水素製造」がテーマの会議で、経済産業省が9日から3日間の日程で開催し、加盟国の政府関係者らが出席している。10日は、

日本企業がそれぞれ研究を進めている独自の水素製造技術についてプレゼンテーションした。

会議に招聘された水木社長は、化石燃料を使わずに水素を生成できる利点を解説。千葉県木更津市の「ホテル三日月」で、廃アルミ由来の水素を用いて発電するプロジェクトを進めており、社会実装の段階に入っていることも紹介した。